



CSたより

6号

コミュニティ・スクール

7月に入り、日差しが強く暑い日々が続いています。夏は始まったばかりだというのに、大人である私たちは、もう毎日がへとへとになってしまいます。一方、子供たちを見ると、その溢れんばかりのエネルギーにびっくりしてしまいます。皆様の体調はいかがですか。

さて、いよいよ1学期も終わりました。今年の夏休みが、一人一人の子供たちにとってより充実した日々になればと切に願います。今回は、昨年度の課題に対する取組と4月からの学習（ふるさと科）についてお伝えします。

昨年度の第3回学校運営協議会では、以下の課題（問題）が挙げられました。

- | | |
|------------------|---------------------------|
| (1) ネット利用の問題 | 家庭で適切に活用されていないことがある。 |
| (2) 中学校の登山学習の問題 | 子供間の体力差から適切な学習ができないことがある。 |
| (3) ふるさと科の問題 | とてもよい取組だが、学習内容をもう少し知りたい。 |
| (4) 講師との打ち合わせの問題 | 打合せの時間がうまくとれなかったことがある。 |

(1)のネット利用の問題では、各委員からICT教育は、これからの社会を考えると、とても大切だという意見が出されました。しかし、一方で、親子でネットに関わる危険性を学習していくことも必要で、家庭での適切な使用はどうあればよいかが話し合われました。家庭で子供の様子を見てみるとネットに依存していることがあり、とても心配だという意見も多数寄せられました。これらを受け、小中の各学校では、新年度もネットに関する危険性を親子で学習することとしています。



親子でネットの学習

6月16日（金）、さみさと小学校では、「親子ネットモラル学習」が行われました。講師に、富山大学医学部の山田正明先生をお招きし、全校児童と保護者を対象に「医師からみた子どものネット依存」と題し、ネット依存の恐ろしさやその対策についてのご講演をいただきました。アンケートでは、メディアの利用時間が長い子の多くは、「日中ねむい」「学校の勉強がわからない」「学校に行きたくないとよく思う」と答えており、「家族との会話がほぼない」「お手伝いを全くしない」と答える子も

多く見られるということを話されました。ゲーム依存で入院治療をしている子供の環境要因として、「母親のネット時間が2時間以上（平日自宅）」「家庭内でのルールがない」「父親のネット時間が2時間以上」等の割合が高く、親子での関連性の強さを強調されています。ここから、ネット利用の問題については、家庭内での在り方を親子で話し合い、家庭のルールづくりから始めてみるのが大切だということが分かります。

7月5日（水）、あさひ野小学校でも「情報モラル授業」が行われました。また、朝日中学校では、2学期（11月）にネットの危険性について、親子で学習する予定となっています。（今年度、ネットに関わる学習は、富山大学の山田正明先生が講師です。3校とも充実した学習会になっていくものと思われます。）



ふるさと自然体験登山

(2)の中学校の登山学習については、生徒間の体力差による時間差が問題として残りました。これに対して、朝日中学校では、今年度、従来の大鷲山登山を笹川の遊歩道(ふるさと自然体験登山)に変更して実施しました。当日、6月16日(金)は、あいにくの雨となりましたが、時間が過ぎるとともに晴れ間も見られ、生徒全員が時間内に踏破することができました。そこには笑顔も溢れていました。地区のサポーター(12名)の方々が、支えて下さったおかげで、生徒たちは、朝日町のよさをまた一つ身に付けて帰ることができました。

子供たちの声

- ・この登山は、すごく楽しくて、スタートからゴールまでとてもよかった。
- ・雨の降った後の森は、すごくきれいだった。お昼は、グループの人ばかりでなく、いろいろな人と楽しい話ができととてもよかった。
- ・植物の不思議さを学んだ。図鑑でしか見たことのないような植物もあって楽しかった。地元の自然を知る機会になってよかった。
- ・歌を歌ったり、転びそうになったときに支え合ったりと仲間と協力して、登ることができた。普段体験できないことをすることができた。

(3)のふるさと科の問題として、学習内容の周知を図っていきます。その手立てとして、広報(学校のホームページやCSたより等)の充実に、より取り組んでいきます。そして、ふるさと科のよさをお伝えしていきたいと考えています。

(4)の講師との打合せの問題では、今年度から地域学校協働活動推進員として水野瑠美子さんに加わってもらい、学校で行われる学習内容(ふるさと科)がスムーズに行われるようにと進めています。水野さんには、学校とのコーディネーターの役割のほか、講師としても活躍してもらっています。

.....

令和5年度 学校運営協議会

町では、前述のように学校運営協議会を設置しています。この学校運営協議会は、保護者や地域住民の代表者で構成されています。現在、学校を取り巻く環境は、大変な速さで変化しています。これらを踏まえ、子供たちの成長を支援する手立ても早急に模索し、実行していかなければならない時代となっています。この学校運営協議会のねらいは、学校が抱える困難な課題を学校だけに任せるのではなく、私たち地域住民が、学校と協力して解決していこうというものです。そして、子供たちのために、よりよい教育環境をつくり上げていくことに力を注いでいこうというものです。

今年度は、以下の皆様方に、町の教育について審議していただきます。

なお、学校運営協議会は、7月下旬、11月下旬、3月下旬の3回開かれることになっています。協議されたものについては、CSたよりでお伝えしていきます。



○ 令和5年度 学校運営協議会 委員13名 (会長 南茂 敬子 副会長 鹿熊 洋一) <敬称略>

保護者

朝日町PTA連絡協議会会長 鹿熊 洋一
朝日町立さみさと小学校 PTA 会長 米田 マキ
朝日町立あさひ野小学校 PTA 会長 山本 浩司
朝日町立朝日中学校 PTA 会長 松下 博憲

対象保育所・学校の所長・校長

朝日町立さみさと小学校 校長 竹内 静
朝日町立あさひ野小学校 校長 大森 祐子
朝日町立朝日中学校校長 梅澤 健一
朝日町保育所所長会会長 村澤美智代

関係行政機関の職員

朝日町教育委員会事務局長 水野 真也

地域住民

朝日町公民館連絡協議会会長 菅田 宣雄
地域学校協働活動推進員 深松 茂

学識経験者

有識者 南茂 敬子

その他教育委員会が適当と認める者

朝日町教育センター指導主事 上嶋 早織

今年度は、地域学校協働本部に地域学校協働活動推進員として、深松 茂さん、水野瑠美子さん、水島康寿さん、山崎康樹が従事しています。深松 茂さんは、4つの部会（ふるさと学習支援部会、登下校安全支援部会、放課後支援部会、学校部活動支援部会）に関わり、調整役を担っています。水野瑠美子さんは、「ふるさと科」の講師として教員の相談に乗っています。また、水島康寿さんは、学校の部活動を支える仕事をしています。私、山崎康樹は、学校とのコーディネートと本部の事務をしています。

5月の「ふるさと科」

4月は、朝日町の小中学校は「春の四重奏」の学習からスタートするのですが、今年の春は、例年より暖かく、新年度の学校の始まりには、すでに桜の花びらが散り始めているという状況でした。残念でしたが、仕方ありません。そこで、5月からの学習の様子をお伝えいたします。



○ 朝日町小学校合同記録会 (5月18日) 小学校 5・6年



練習風景

5月18日(木)に朝日町小学校合同記録会がありました。朝日町の小学5・6年生が100m走と50mハードル走の記録をとりました。この記録会に向けて、2つの小学校では、体育の学習の時間に朝日町陸上競技協会の田畑力也さんから、丁寧な指導を受けました。指導は、それぞれの学校で4月の中旬より複数回行われ、走り方やハードルの跳び方等の技術指導を受けました。多くの子供たちにとっては、専門家からの指導で、有意義な時間を過ごすことができました。

○ 苗植え (5月18日) さみさと小学校 2年、(5月23日) あさひ野小学校 2年

小学校の2年、生活科に「ぐんぐん そだて わたしの野さい」という単元があります。自分で育てたい野菜を選び、日々その世話をしていく中で、成長を観察し、そして、最後には、その収穫を喜び合うというものです。子供たちは、1年生のときに、花の種まきから植物を育てる学習をしています。多くはアサガオを育てる学習をしています。その経験を生かし、今度は野菜を育てていくのです。地元の宇田種苗店の宇田晴彦さんから苗の植えつけ方や世話の仕方を学びました。どんな実を結ぶか楽しみですね。

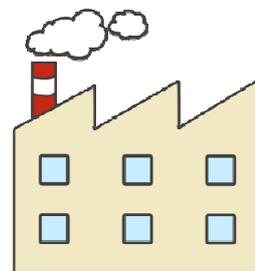


苗植えの指導

○ 町内の企業見学（5月18日）朝日中学校 2年

5月18日（木）に、朝日中学校の2年生（80名）が、町内にある4つの企業を見学しました。ねらいは、2つありました。1つ目は、町内にある企業や工場を見学し、地元の理解を深めること。2つ目は、この見学から、働くことの意義について考えることでした。4つの企業・工場は以下の所で、**担当者の方**から仕事の内容を聞き、社会のどの部分で生かされ、役立っているのかを聞くことができました。

- 朝日電子株式会社
- 株式会社渡辺功機
- 株式会社TSS朝日工場
- ニットービバレッジ株式会社



○ 宮崎漁港（5月23日）あさひ野小学校 3年

5月23日（火）、あさひ野小学校3年生14名が、宮崎漁港に行きました。そこで、**朝日町漁業協同組合長の水島 洋さん**から宮崎漁港でとれる魚の種類や魚をとる船についてお話を聞きました。

昔とは、とれる魚の種類や量も大きく違ってきていることが分かりました。また、朝日町にある鮮魚店の多くは、魚津漁港とつながりがあり、魚津でとれた魚が朝日町で販売されていることも知ることができました。



○ ヒスイ海岸（5月23日）あさひ野小学校 3年



ヒスイテラスで、「**ひすい恵みの会**」代表、**扇谷 誠さん**から目の前に広がる宮崎海岸を眺めながら、ヒスイの石についてお話を聞きました。また、そのヒスイを探すこつも聞き、自分の目と手で貴重なヒスイを探すことに熱中しました。残念ながら、ヒスイは見つけることはできませんでしたが、とても楽しい時間を過ごすことができました。忘れられない学習となりました。



5月、6月、7月には、この他にも「ふるさと科」の学習が、たくさん行われました。今回は、5月を中心にその一部を紹介いたしました。今回は、第1回朝日町学校運営協議会（7月19日実施）の協議内容と今回掲載できなかった「ふるさと科」の様子をお伝えいたします。

朝日町地域学校協働本部（朝日町教育センター内）
 電話：090-7180-9179
 FAX：(0765)83-0279 担当 山崎
 Email：asahi.chiikigakkoukyoudouhonbu@gmail.com